氏　　名　藤田（ふじた）　正（ただし）

所属・職名　学校教育講座（発達心理学）・教授

研究室電話番号　０７４２－２７－９２６７
（ダイヤルイン・FAX 兼用）

電子メールアドレス　fujitat@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位　東京教育大学大学院教育学研究科博士課程中途退学（1974）
博士（心理学）（筑波大学 1996）

所属学会等　日本心理学会，日本教育心理学会，関西心理学会，日本臨床心理士会，
日本学校心理士会

専門分野　認知・記憶の心理学，教育・発達心理学

研究と教育について

研究の関心は，人間の「知」の仕組みや働きにあります。獲得している知識が，記憶や認知活動を促進したり，抑制したりする現象であるプライミング効果やストループ干渉などについての基礎的な研究を行っています。また，子どもの学習活動や発達にも関心があり，記憶における分散呈示の効果，記憶の発達，学習活動におけるメタ認知の役割などについても研究しています。最近、大学生の課題先延ばし行動についての調査研究を始めました。

学校教員として必要な資質である人間的魅力や教える力量を４年間の学びや人間関係の中から習得して下さい。また，心理学を専攻する希望を持っている人は，専門領域での基礎的な知識や考え方，技法を習得し，それが自己の特色として輝かせられるように努力してほしいと思っています。

主な研究業績

・漢字の記憶における意味の役割に関する研究 1995 読書科学 39,1-6.
・Buildup of proactive interference in Japanese KANJI learning. 1995 Psychologia 38,101-108.
・絵・語ストループ干渉課題における絵の命名とカテゴリー化に及ぼす項目間連想強度の効果 2004 奈良教育大学紀要 53,47-53.
・先延ばし行動と失敗行動の関連について 2005 奈良教育大学教育実践センター研究紀要 14,43-46.
・漢字学習における書字行為に関する研究 2005 奈良教育大学教育実践センター研究紀要 14,47-54.

主な授業担当科目

発達心理学(教職科目)，認知発達特講(学校教員養成課程)，発達臨床心理学(総合教育課程)，
発達心理学特論(大学院)，発達心理学演習(大学院)

学会活動　関西心理学会委員，日本学校心理士会奈良県支部総務委員

社会的活動　奈良県立教育研究所家庭教育推進委員

講演のテーマ　「子どもの声，そして子育て」，「子どもの発達と環境の応答性」